ハンドマイク街頭演説原稿例　大軍拡進める法案次々（改）

二〇二四年五月十四日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、政治資金集めパーティー収入をめぐる、自民党派閥による裏金問題について、とんでもないことだとお怒りの方が多いのではないでしょうか。自民党と公明党が政治資金の透明性と高めるとして法律の改正案をまとめています。ただ、裏金が何に使われたのかいまだに明らかにされていません。日本共産党は裏金事件の温床となった企業・団体献金の全面禁止など、実のある政治改革を進めるために全力をあげるとともに、裏金問題の真相解明も引き続き、一歩も譲らず求めていく決意です。

　ところでみなさん、裏金問題の影に隠れる形で、日本を「戦争する国」に変えていく重大な法案が国会で次々と成立させられていることをご存知でしょうか。マスコミでの報道も少ないので、気づかれない方も多いと思います。

　一つは、兵器を外国と共同で開発することを念頭に、いわゆる「同盟国・同志国」と同じ程度の秘密保全体制を整備するとした、経済秘密保護法です。政府は「軍事分野とは無関係」と説明していますが、経団連関係者はこのしくみが軍需産業への参入を想定したものだと認めています。また、軍事に関係ない民生利用目的の研究の中から、防衛省の研究開発に結びつく可能性が高いものを経済秘密保護法の対象に加える可能性も明らかになりました。日本の科学技術を軍事に動員しようとするものです。また、国民監視の仕組みを強めるものでもあり、認めるわけにはいきません。

　もう一つは、陸海空の３自衛隊を一元的に指揮する「統合作戦司令部」を新たに作るなどとした防衛省設置法の改定です。自衛隊はもともと、指揮権が陸海空それぞれに分かれていました。言葉だけ聞くとそんなにおかしくは聞こえない「統合作戦司令部」ですが、実は大きな問題があります。それは、アメリカ軍のインド太平洋軍司令官に対応する自衛隊組織をつくり、他国の軍の指揮下で自衛隊が武力行使することに道を開くことになるという点です。これも日本を「戦争する国」に変えてしまうものです。

　これら二つの法案が先日、参議院で可決・成立しました。採決では与党の自民、公明、与党を支える役割を果たしている維新、国民民主に加えて、立憲民主党も賛成しました。

　日本共産党は、日本を戦争する国に作り変える動き、そのために国民への監視を強めようとする動きに一貫して反対してきました。みなさん、自民党・公明党などによる危険な流れを止めるため、ごいっしょに声をあげましょう。日本共産党へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

　自民党の裏金問題を最初に取り上げた、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）